

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	1	法人理念、事業所理念を掲げて、業務に取り組むことができているが、具体化して明確な指針を示す必要がある。	さらに具体化して明確な指針を示す事で、介護サービスの質の向上を図る。	介護職員と共に事業所の理念をユニット毎に具体化し、課題を明確化する事で、根拠のあるサービスを提供する。また、利用者の心身の状況に応じて定期的に見直しを行い、質の高いサービスを目指すと共に、職員の育成を目的とします。	6 か月	
2	2	現在では、近所のスーパー、公民館、図書館、美容院、クリニック、薬局など地域資源を活用した外出ができている。更に地域に溶け込み、地域の一員として日常的な交流を目指す必要がある。	地域との関わりを増やすことで、利用者様の社会参加を促していく。	地域の祭りや催し物に参加したり、施設で行なう行事に地域の方々に参加を促していく事で、地域との交流をさらに深めていく。	6 か月	
3		運営推進会議の内容や取り組みが広く周知できていない現状がある。	運営推進会議の在り方として茶話会や昼食会など開催することで、ご家族・利用者参加型の会とし、意見を出しやすい会にしていく。	推進会議事録の閲覧ファイルの設置や掲示など取り組めることから開始し、推進会議の周知、市町村との連携を強化していく。	6 か月	
4					か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		
実施段階		取り組んだ内容 (↓該当するものすべてに○印)
1 サービス評価の事前準備		①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		②利用者へサービス評価について説明した
	○	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		⑤その他()
2 自己評価の実施		①自己評価を職員全員が実施した
		②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
	○	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
	○	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		⑤その他()
3 外部評価(訪問調査当日)	○	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
	○	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
	○	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		④その他()
4 評価結果(自己評価、外部評価)の公開		①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
	○	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
	○	③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った(予定である)
	○	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		⑤その他()
5 サービス評価の活用	○	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
	○	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
	○	③「目標達成計画」を市区町村へ説明し、提出した(する)
	○	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		⑤その他()